

## 令和6年度 ものづくりイノベーション支援プロジェクト

## 認定案件の概要

(※認定期間のうち助成対象事業期間は初年度のみ)

## ◆基盤技術開発枠 8件

社名五十音順

計画名称	世界初！3種の歯周病菌を同時検出する、唾液で行う歯周病検査技術の開発
共同事業体代表者 (所在地)	株式会社アイキャット（大阪市）
支援機関 (所在地)	株式会社りそな銀行（大阪市）
計画の概要	歯周病の原因となる3種類の悪玉菌を一度に検出できる世界初の試薬を開発し、簡単かつ迅速に歯周病のリスクを検査できるようにします。
認定期間（※）	令和6年7月10日から令和7年3月14日まで

計画名称	陶器をIHで加熱するための、カーボングラファイトを用いた、素手で持ち運び可能な、飲食店向け発熱プレートの開発
共同事業体代表者 (所在地)	株式会社オーシン（東大阪市）
支援機関 (所在地)	池田泉州銀行東大阪中央支店（東大阪市）
計画の概要	陶器をIHで加熱する、飲食店向け発熱プレートを開発します。現状の課題である「製品の丸洗い」ニーズに対応するべく、耐水性の代替材料の選定・試作し、性能を損なわず、水洗い可能な仕様での製品化を目指します。
認定期間（※）	令和6年7月10日から令和7年7月31日まで

計画名称	半導体関連進出、革新的な射出成型システムの新技术開発
共同事業体代表者 (所在地)	錦城護謨株式会社 (八尾市)
支援機関 (所在地)	八尾市立中小企業サポートセンター (八尾市)
計画の概要	積層セラミックコンデンサの外部電極を形成時に使用、日本初の保持具の開発。金属プレートにシリコンゴム焼き付け、千穴以上の保持必要で極めて高い寸法精度とゴム表面状態を要求される。異物付着・バリ発生ゼロ化 (部品欠落するため)
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年3月14日まで

計画名称	金属加工における、ロボットシステムインテグレーションによる生産工程自動化のための技術開発
共同事業体代表者 (所在地)	國陽電興株式会社 (八尾市)
支援機関 (所在地)	八尾市立中小企業サポートセンター (八尾市)
計画の概要	溶接工程にワークハンドリングロボットを導入し、自動部材供給システムの設計・製作とワークハンドリングロボットと溶接ロボットの連携、システム全体の制御技術などの自動化技術開発により、工程全体の全自動化、省人化を図る。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年3月14日まで

計画名称	全周方向から検査が可能なAI ハーネスカラーチェッカー製品化のための技術開発
共同事業体代表者 (所在地)	相光電子株式会社 (守口市)
支援機関 (所在地)	守口門真商工会議所 (門真市)
計画の概要	従来のハーネスカラーチェッカーは、コネクタ裏側や中心付近の配線が検査できない問題を抱えているため、全周方向からの検査が可能なメカや構造、治具の設計を行い、コネクタ裏側や中心付近の配線の検査が可能な画像処理技術の開発を行う。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年6月30日まで

計画名称	空調機器の電気配線作業における誤配線防止のための、AI画像検査システムの開発
共同事業体代表者 (所在地)	ミック工業株式会社 (堺市)
支援機関 (所在地)	りそな銀行 (堺市)
計画の概要	空調機器内の数十種類の配線作業に対し、目視チェックではミスを0にすることが難しいため、精度の高い機械検査に切替えるための、画像処理とAI機能を組み合わせた配線チェックシステムを開発、全数検査を行うことを目指す。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年3月14日まで

計画名称	金属製品の外観検査装置の開発
共同事業体代表者 (所在地)	株式会社ミナミダ (東大阪市)
支援機関 (所在地)	八尾商工会議所 (八尾市)
計画の概要	アームロボットおよび内径用カメラを購入し、組立とプログラミングを自社で行い、金属製品のキズ、ダコン、バリ等を判別するための外観検査装置として完成させ、それを当社工場内で使用することで検品工程の省力化を図る。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年6月30日まで

計画名称	磁気反発力を活用する靴の開発
共同事業体代表者 (所在地)	株式会社リゲッタ (大阪市)
支援機関 (所在地)	大阪商工会議所 (大阪市)
計画の概要	靴および台に磁石または電磁石を配置し、その反発力を活用し浮遊力を与えた靴の開発。安定的に浮遊力を活用できるよう、靴の材質、デザイン、磁石の配置等を工夫する。まず靴単体で安定的に浮遊状態を維持できる状態の開発を目指す。将来的には介護分野等での応用を想定。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年3月14日まで

## ◆産学連携枠 3件

社名五十音順

計画名称	動物を使わず、大幅な製造コストダウンを可能とする抗体製造技術の開発
共同事業体代表者 (所在地)	株式会社細胞工学研究所 (大阪市)
支援機関 (所在地)	公立大学法人大阪 大阪公立大学 (大阪市)
計画の概要	検査用抗体の作製方法の主流はマウス腹水等に依存している。近年、動物愛護・コスト低減から、大腸菌での大量培養技術が求められている。今回、我々はイソペプチド結合の導入により抗体の大腸菌培養を可能にする。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和8年3月31日まで

計画名称	はんだ接合部の欠陥を抑制するはんだ付け方法及び新規はんだ付け装置の開発
共同事業体代表者 (所在地)	白光株式会社 (大阪市)
支援機関 (所在地)	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター (大阪市)
計画の概要	はんだ付け時に発生する「はんだ付けボイド」の欠陥を、はんだ付け時にバイブレーション振動や超音波振動などを添加して、はんだ付け時の課題を解決するはんだ付け方法と、それを実現する新規はんだ付け装置を開発する。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和7年3月14日まで

計画名称	メガネ型ウェアラブルデバイスを用いた肌バリア機能評価と肌健康維持支援の開発
共同事業体代表者 (所在地)	株式会社桃谷順天館 (大阪市)
支援機関 (所在地)	国立大学法人 神戸大学 (神戸市)
計画の概要	皮膚炎等の肌トラブルを継続させないために、その指標となる肌バリア機能を常時把握し、適したケア成分を肌に与えるメガネ型ウェアラブルデバイスを開発する。肌バリア機能の常時計測はこれまでに実現されていなかった。
認定期間 (※)	令和6年7月10日から令和8年7月1日まで